

## 授業の概要／Course description

### 科目基礎情報／Course information

開講元学部／Faculty	外国语学部／FACULTY OF FOREIGN STUDIES
開講元学科／Department	英語学科／DEPARTMENT OF ENGLISH STUDIES
登録コード／Registration Code	FES66000
期間／Period	2013年度／Academic Year 春学期／SPRING
学期／Semester	春学期／SPRING
曜限／Period	月／Mon 5
教室／Classroom	月5 :研究室／Laboratory
科目名／Course title	演習（アメリカ研究）／SEMINAR(AMERICAN STUDIES I)
授業形態／Course Type	演習／Seminar
授業実施方法／Class format	
科目ナンバリング／Course Numbering	
レベル／Level	
教員表示名	小塩 和人
主担当教員名／Instructor	小塩 和人／OSHIO KAZUTO
単位数／Credits	2
更新日／Date of renewal	2013/02/25

### 講義概要情報／Course description

アクティブ・ラーニングの実施／Active Learning	なし／No
授業の概要／Course description	本演習は、アメリカ研究の分野で英語論文を執筆する予定の学生を対象に提供される。春学期はテーマ設定に始まり、二次資料収集と批判、論文構成を経て、7月第二週をめどに小論文を完成させ、南山大学アメリカ研究グループとの交流研究発表会（四ッ谷キャンパス）や8月上旬のオープンキャンパスにて口頭発表を行う。秋学期直前の9月最終週に全員が出席する合宿や11月3日（祝）三大学研究交流発表会との交流研究発表会（四ッ谷キャンパス）を経て、12月第二週をめどに論文を完成させる。秋学期の作業手順としては、夏休み中に改訂した序（3枚）・1・2・3（各8枚）・結章（3枚）を相互批判することで、最終的な原稿を作り上げる。大切な事は、自分が何に関心を持っているのかを早くかつ具体的に明確化する、二次資料すなわち既存の専門書籍や研究論文を整理かつ批判する、（第三者の解釈を鵜呑みにしないためにも）当事者が残した一次史料を活用する、筋道を立てた英文を書く（何が問題なのか、何故問題なのか、どのような順序で議論を進め結論に至るのか、いかなる情報に依拠するのか、などを順序良くかつ説得的に説明する）などである。大学生活の知的総決算としての学術論文執筆に向けて、「知の受容者」から「知の創造者」へと脱皮する、向学心に燃えた学生たちの参集を期待している。
ディプロマ・ポリシー（DP）との関連（対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと）／Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and Department (Students who belong to other faculties)	

and departments, check Curriculum Map of your faculty and department)

他学部・他研究科受講可否  
／Other departments' students

不可／No  
※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。  
Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.

評価基準・割合  
／Evaluation

授業参加／Class participation (50.0%)  
その他/Others(in detail) : 学期末小論文 (50%)

授業で使用する言語（日本語以外）  
／Required languages (other than Japanese)

English

### 講義スケジュール／Schedule

授業計画／Class schedule	1.Introduction
	2.Finding a topic
	3.Narrowing a topic
	4.Finding Secondary Sources
	5.Summarizing Secondary Sources
	6.Criticizing Secondary Sources
	7.Working on Outline (1)
	8.Working on Outline (2)
	9.Mutual Comments on Outline (1)
	10.Mutual Comments on Outline (2)
	11.Working on Draft (1)
	12.Working on Draft (2)
	13.Final Presentation (1)
	14.Final Presentation (2)
課題等に対するフィードバック方法 ／Mediums for feedback to students	

## 授業の概要／Course description

### 科目基礎情報／Course information

開講元学部／Faculty	外国語学部／FACULTY OF FOREIGN STUDIES
開講元学科／Department	英語学科／DEPARTMENT OF ENGLISH STUDIES
登録コード／Registration Code	FES66100
期間／Period	2013年度／Academic Year 秋学期／AUTUMN
学期／Semester	秋学期／AUTUMN
曜限／Period	月／Mon 5
教室／Classroom	月5 :研究室／Laboratory
科目名／Course title	演習（アメリカ研究II）／SEMINAR(AMERICAN STUDIES II)
授業形態／Course Type	演習／Seminar
授業実施方法／Class format	
科目ナンバリング／Course Numbering	
レベル／Level	
教員表示名	小塩 和人
主担当教員名／Instructor	小塩 和人／OSHIO KAZUTO
単位数／Credits	2
更新日／Date of renewal	2013/02/25

### 講義概要情報／Course description

アクティブ・ラーニングの実施／Active Learning	なし／No
授業の概要／Course description	本演習は、アメリカ研究の分野で英語論文を執筆する予定の学生を対象に提供される。春学期に完成させた小論文をもとに秋学期直前の9月最終週に全員が出席する合宿で研究成果を披露する。その後、11月3日（祝）愛知県立大学・静岡県立大学との交流研究発表会（四ッ谷キャンパス）を経て、12月第二週を目処に論文を完成させる。秋学期の作業手順としては、夏休み中に改訂した序（3枚）・1・2・3（各8枚）・結章（3枚）を相互批判することで、最終的な原稿を作り上げる。大切な事は、自分が何に関心を持っているのかを早くかつ具体的に明確化する、二次資料すなわち既存の専門書籍や研究論文を整理かつ批判する、（第三者の解釈を鵜呑みにしないためにも）当事者が残した一次史料を活用する、筋道を立てた英文を書く（何が問題なのか、何故問題なのか、どのような順序で議論を進め結論に至るのか、いかなる情報に依拠するのか、などを順序良くかつ説得的に説明する）などである。大学生活の知的総決算としての学術論文執筆に向けて、「知の受容者」から「知の創造者」へと脱皮する、向学心に燃えた学生たちの参集を期待している。
ディプロマ・ポリシー（DP）との関連（対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと）／Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and Department (Students who belong to other faculties and departments, check	

Curriculum Map of your faculty and department)

他学部・他研究科受講可否／Other departments' students	不可／No ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.
評価基準・割合／Evaluation	授業参加／Class participation (50.0%) その他／Others(in detail) : 学期末論文 (50%)

### 講義スケジュール／Schedule

授業計画／Class schedule	1.Mutual Comments on Revised Intro/First Chapter (1)
	2.Mutual Comments on Revised Intro/First Chapter (2)
	3.Mutual Comments on Revised Intro/First Chapter (3)
	4.Mutual Comments on Revised Intro/First Chapter (4)
	5.Mutual Comments on Revised Second Chapter (1)
	6.Mutual Comments on Revised Second Chapter (2)
	7.Mutual Comments on Revised Third Chapter (1)
	8.Mutual Comments on Revised Third Chapter (2)
	9.Mutual Comments on Revised Conclusion (1)
	10.Mutual Comments on Revised Conclusion (2)
	11.Mutual Comments on Entire Paper (1)
	12.Mutual Comments on Entire Paper (2)
	13.Final Presentation (1)
	14.Final Presentation (2)
課題等に対するフィードバック方法／Mediums for feedback to students	